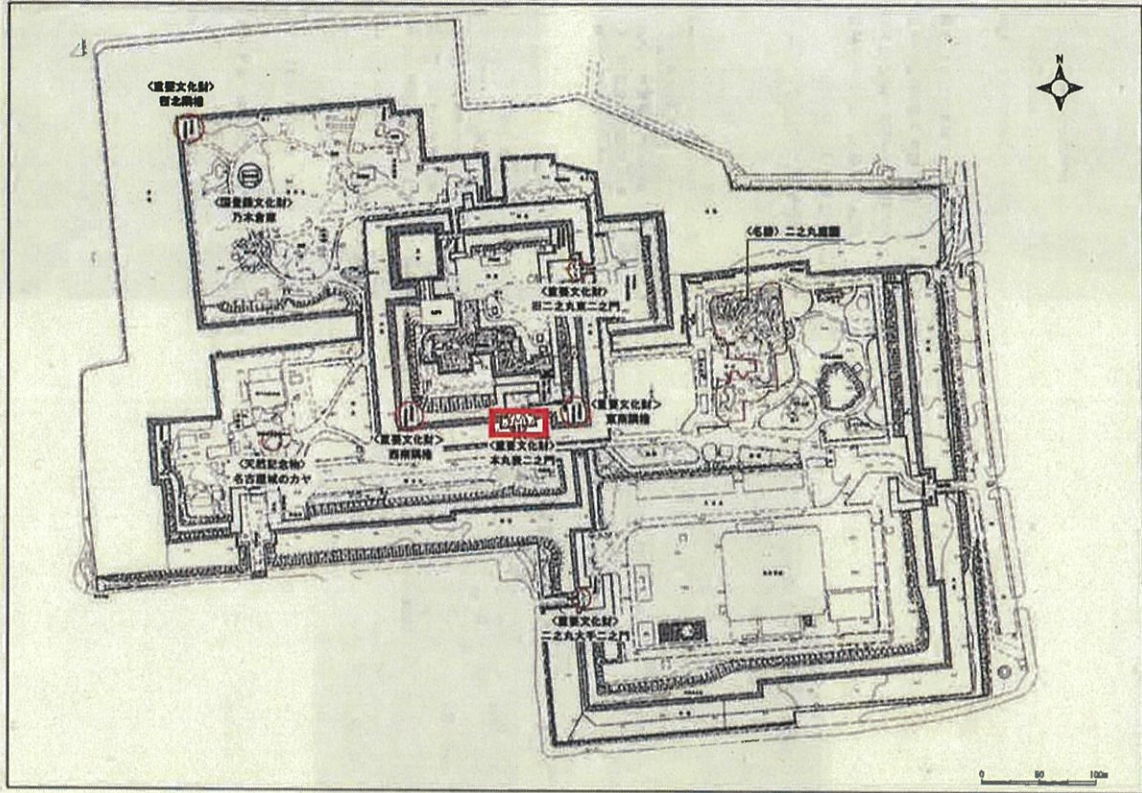
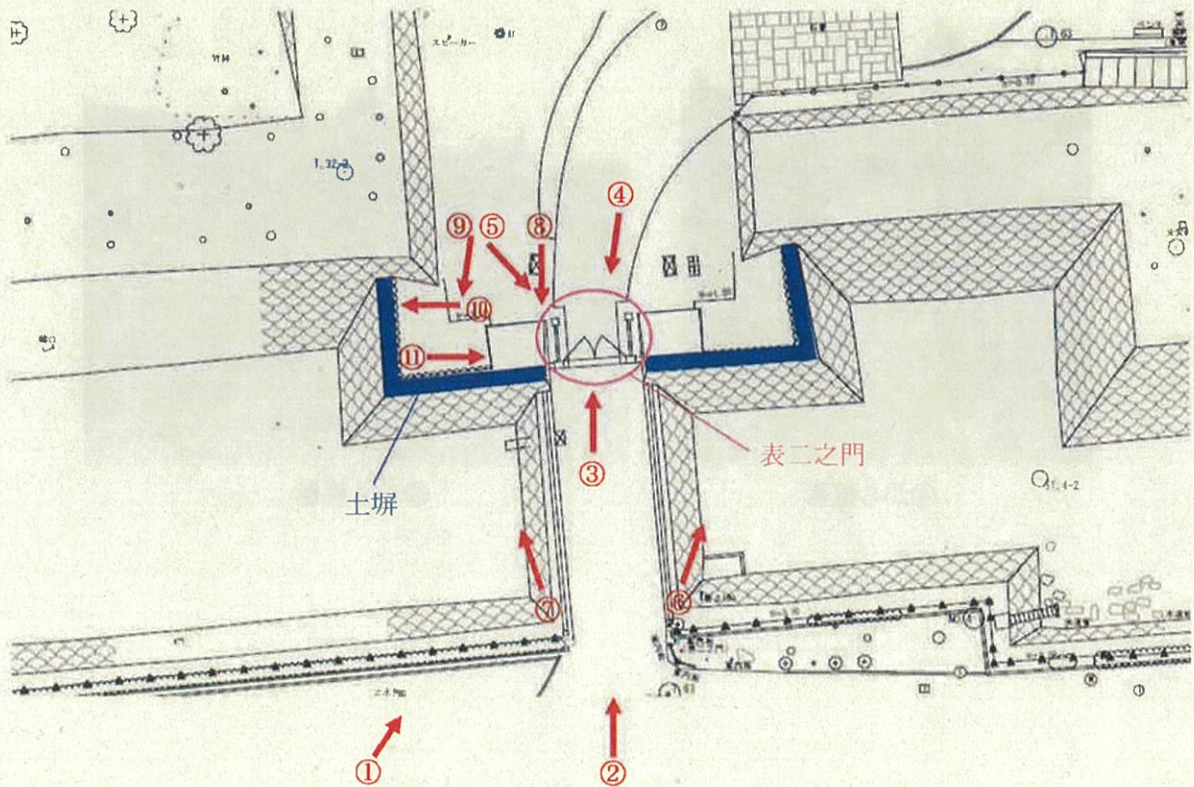


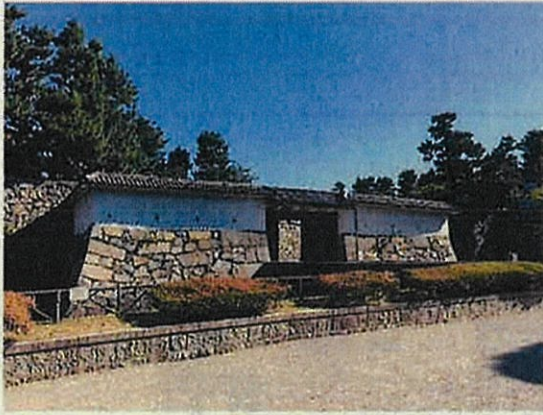
名古屋城本丸表二之門及び土塀について

1 名古屋城跡配置図

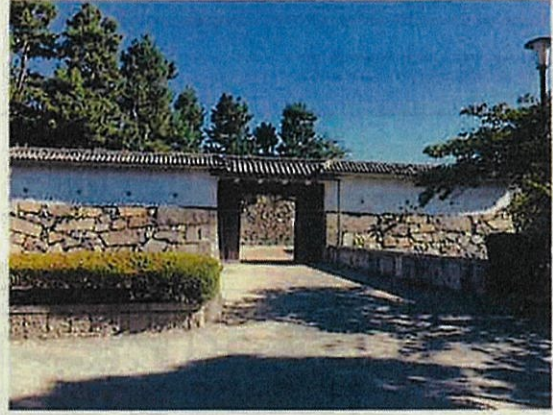


2 現況写真

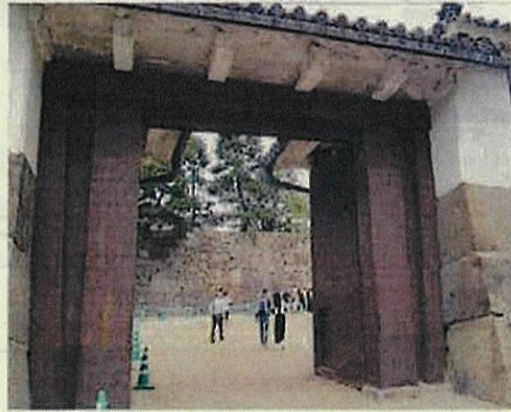




①から撮影



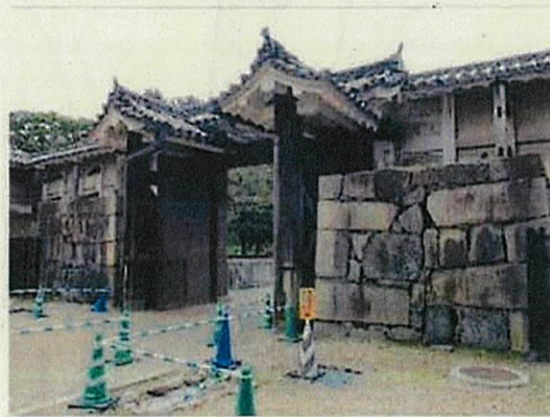
②から撮影



③から撮影



④から撮影



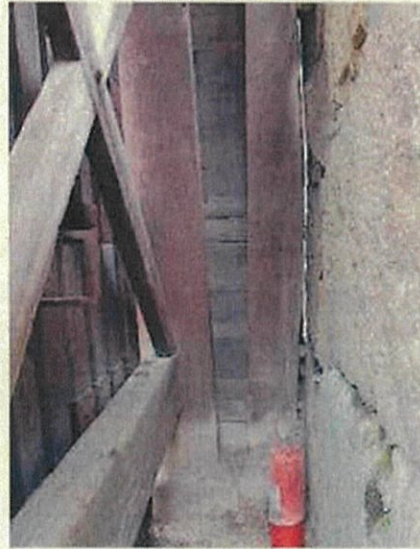
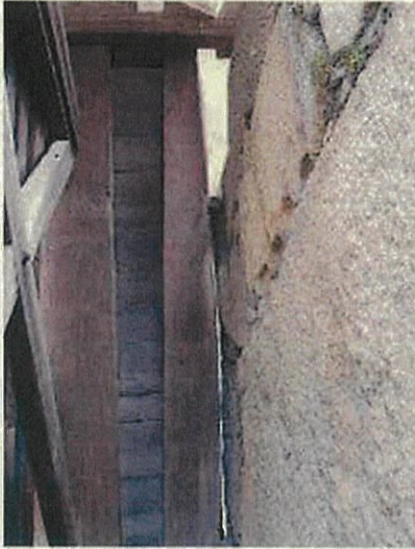
⑤から撮影



⑥から撮影



⑦から撮影



⑧から撮影

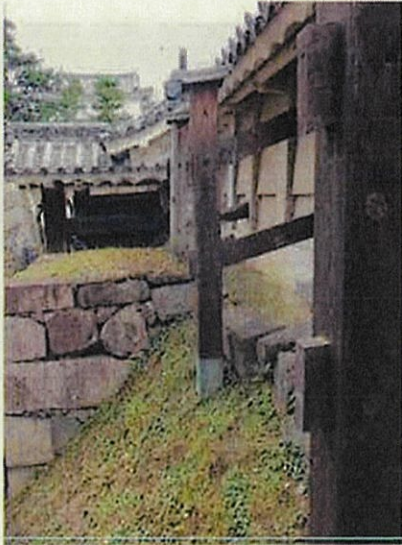
(石垣には接していない)



⑨から撮影



⑩から撮影



①から撮影



控柱の状態

(ほとんどの控柱が同様の状態)

3 今後の予定

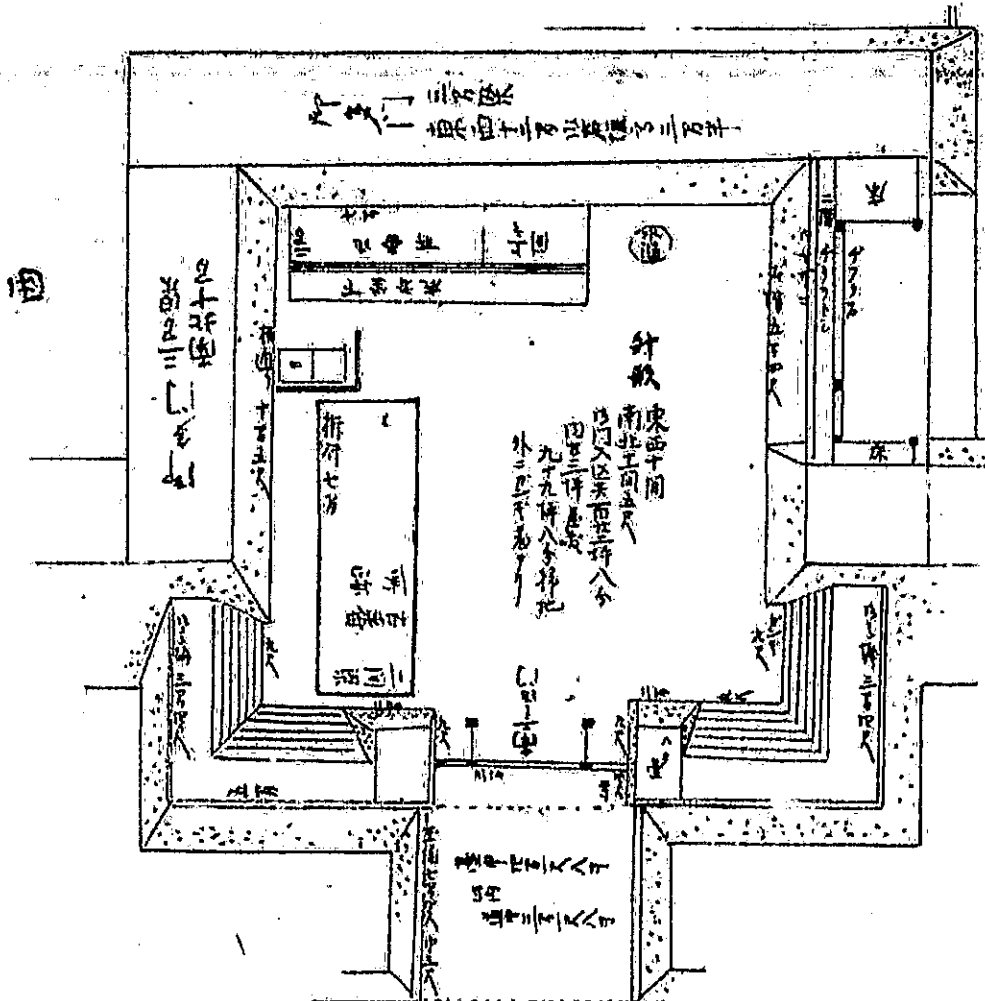
令和2年度：耐震診断（劣化状況調査を含む）

※文化財保存計画協会に委託

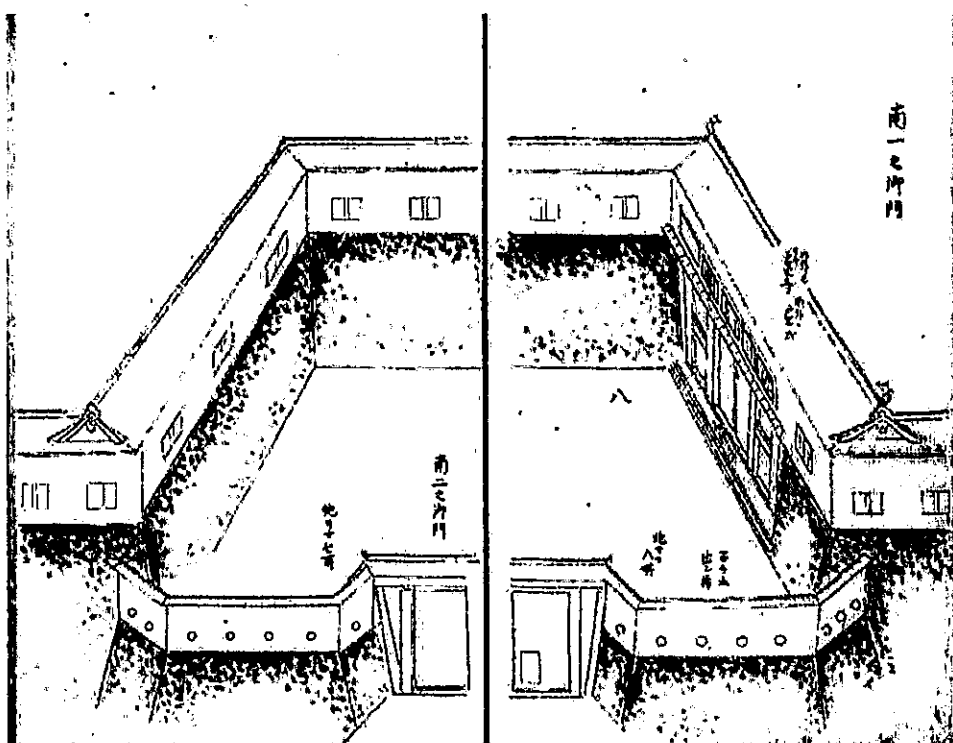
令和3年度：耐震改修方法の検討、各部会への説明、文化庁協議、保存修理方針の策定

令和4年度：設計

令和5年度～：工事

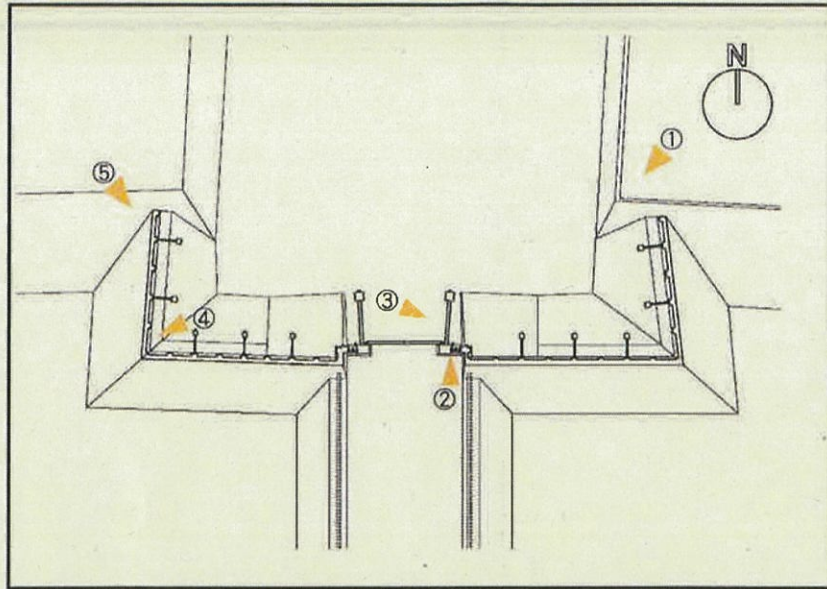


『金城温古録 十六 御本丸編之壹 大手部』「南一之御門升形細見之図」(部分)(名古屋市教育委員会編)



『金城温古録 廿二 廿三 御本丸編之七 搦手部同八 圖案部』 「御建物図集」 (名古屋市教育委員会編)

名古屋城表二の門・土塀 現況写真



名古屋城表二の門・土塀 キープラン



①名古屋城表二の門・土塀 前景(北東より見る)



②同左谷附近 (南より見る)



③冠木、大扉欄下端筋哲劣化状況



④表二の門西側土塀入隅谷周辺破損状況(東より)



⑤表二の門西側土塀 堀側屋根破損状況(西北石垣上より)

<p>令和元年度調査(現時点での見立て)</p>	<p>令和2年度(耐震診断の結果を受け、改修方法について、文化庁・建造物部会へはかった上で、保存修理方針を策定)</p>	<p>令和3年度以降</p>
<p>屋根部は瓦を外して、屋根の葺き替えが必要(屋根の大規模改修が必要)。 門扉は取り外して、改修が必要。 門の耐震性については、今後検討を進めるが、耐震性の結果によって ① 解体修理が必要 ② 解体は不要であるが、部分的な補強が必要 この二択となるのではないか。</p>	<p>元年度調査の結果により、保存修理方針を策定することから、現時点で未定の部分があっても、令和2年度委託への影響はない。 改修方法を定めることにより、関係者と協議を行い、概算事業費が推定できる。</p>	<p>基本設計→解体工事及び詳細設計→改修工事</p>
<p>土塀については、劣化が進んでおり、解体修理が必要。</p>	<p>門と土塀は一体化していることから、どのように修理をすすめるか、令和2年度委託で検討。</p>	

保存修理についての方向性を定めないと、設計・工事に入ることができない